



アストの健康たよし 歯の健康について！

令和6年6月号



6月4日～10日は「歯と口の健康週間」、今年の標語は「歯を見せて 笑える今を 未来にも」

おいしく食べて、健康で長生きをするために、欠くことのできない「歯」。歯を失う主な原因是むし歯と歯周病です。毎日しつかり歯の健康管理をして、何歳になっても「元気に会話ができる」「おいしく食事をいただける」といった日常生活を送っていきましょう。

歯の健康管理のために

- 歯磨き・・・“食べたら磨く”習慣を身に付けましょう。毎食後、丁寧に歯磨きをすることで、お口の中を清潔に保ち、細菌類が繁殖しないようにすることが、むし歯・歯周病予防の基本です。
しかしながら、ごしごしと力を入れて、磨きすぎも禁物です！
- 歯間ブラシやデンタルフロスで歯垢を除去・・・歯と歯の間や、歯と歯肉の境目についている食べかすや歯垢は、歯ブラシだけでは取れにくいため、歯間ブラシやデンタルフロスなどの用具を使って、しつかり落としましょう。
- 歯科医や歯科衛生士によるケアも必要・・・自分では取り除けない歯垢や歯石を除去するためには、年1～2回専門クリーニングが必要です。お口の中で起きているトラブルの早期発見・治療のためにもかかりつけの歯科医をもち、定期的に歯垢や歯石のケアを受けましょう。



* * 歯周病セルフチェック * *

- 朝起きたときに、口の中がネバネバする。
- 歯みがきのときに出血する。
- 硬いものが噛みにくい。
- 口臭が気になる。
- 歯肉がときどき腫れる。
- 歯肉が下がって、歯と歯の間にすきまができる。
- 歯がグラグラする。
- 45歳以上の方・喫煙者・妊娠中・糖尿病にかかっている方・歯みがきの悪い方

これらにあてはまる方は、歯周病のリスクが高いといわれています。一度、歯科医を受診しましょう。

他にもあります...歯・口の健康に関する問題！！

- オーラルフレイル・・・高齢になると、噛めない、飲み込めない、むせる、滑舌が悪くなる、口腔乾燥などの口腔機能の低下症状が多く見られ、こうした状態を「オーラルフレイル」と言います。歯科領域では舌体操や唾液腺マッサージなどの指導をしています。
 - 口腔機能発達不全症
- 年齢に合わせた、「食べる」「話す」といった口の機能の習得がうまくできていない子どもが一定数あり、「口腔機能発達不全症」と言います。1歳6ヶ月、3歳健診時に相談をしてみてください。
- その他にも「顎関節症」や「不正咬合」といったトラブルもあります。年齢やライフステージに合わせた口腔の健康管理が大事です！かかりつけ歯科医を持ちましょう！

